

## 7 光化学スモッグ対策の推進

提出先 環境省

### 【提案項目】

光化学スモッグについては、平成18年度の大気汚染防止法の改正施行により、原因物質である揮発性有機化合物（VOC）の排出抑制などを進めているが、本県の光化学オキシダント濃度は横ばいの状態にあり、光化学スモッグ注意報の発令は昨年度も継続していることから、光化学スモッグによる健康被害の未然防止を図るため、今後の対策について早急に結論を出し、有効な対策を講じること。

### 【提案理由等】

光化学スモッグ対策については、平成22年度までに、工場等の固定発生源からの揮発性有機化合物（VOC）の排出量を、平成12年度比で3割抑制することで、光化学スモッグ注意報の発令レベルを超えない測定局の割合が約9割まで向上すると国の見込みの下で、既存のVOC排出施設を含め規制強化が図られたところである。

しかしながら、本県では、発令レベルを超えない測定局の割合が増加する傾向にあるが、いまだに国の見込みは達成できていない。また、光化学オキシダント濃度は横ばい状況にあり、光化学スモッグ注意報についても平成24年度5回発令している。

現在、国において、光化学オキシダント総合対策推進事業として、新たな科学的知見の収集、これまでの対策の検証・評価、今後の対策のあり方など検討を進めているが、この検討について、早急に結論を出し、光化学オキシダント濃度の低減につながる有効な対策を講じる必要がある。

神奈川県における光化学注意報発令回数等の推移

区分 \ 年度	19	20	21	22	23	24
発令回数(回)	20	11	4	10	5	5
発令レベルを超えない測定局の割合(%)	41.7	66.7	81.7	61.7	78.3	86.7
昼間の光化学オキシダント濃度(ppm)	0.028	0.029	0.029	0.029	0.027	0.029

(神奈川県担当課：環境農政局大気水質課)